

令和8年度「夏休み子ども科学研究室」を開催しました

令和8年度とやま科学技術週間に開催した、夏休み子ども科学研究室「サイエンス・ラボ～身近な環境を科学しよう！～」の実施結果は以下のとおりです。参加者の皆様には、様々な環境問題に関する実験を通じて、環境保全への関心と理解を深めていただきました。

- ・ 日 時 令和8年8月1日(土)(9:30～11:30)
- ・ 場 所 環境楽習室「エコ・ラボとやま」(富山県環境科学センター)
- ・ 参加人数 15名(参加者9名、保護者6名)
- ・ 指導者等 環境科学センター職員
- ・ 内 容 環境問題に関する学習や実験

テーマ：音をみてみよう

内 容：音を使った音の振動を感じる体験や、金属板と塩を使った音の形を確かめる実験、試験管を使った楽器での演奏などをとおして音の性質を学びました。目に見えない音を実験などで確かめることで騒音問題や身近な環境への理解を深めることができました。



テーマ：水を調べよう

内 容：水の飲み比べや、パックテストを使った水の硬度や汚れなどを調べる実験を行いました。富山の水、外国の水、砂糖水、レモン水、水道水の5つの水の違いを比べることで、化学分析への関心や本県の豊かな水環境への理解を深めることができました。



○参加者の感想（原文ママ）

- ・ いろんないろにかわっておもしろかったです。
- ・ 色が好きだから楽しかった。
- ・ 音や水のことを色々知れてよかったです。

- ・参加して思ったことはじっけんはおもしろいなと思いました。音で火をけせることがいちばんおどろきました。
- ・とくにパックテストが楽しかった。
- ・富山の水と、外国の水の変化がすごくちがくて、びっくりしました。